
メリーポピンズ松山ルーム

令和6（2024）年度
福祉サービス第三者評価結果報告書

株式会社 学研データサービス



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し”自分で考え、行動する思考”を育みます。 2)10よりも100の経験を与え、子どもが”したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 3)”感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 4)「0を1にかえる力」を日本中の子どもたちにつけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <p>・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげていける人 より良い保育を目指して創意工夫していける人</p> <p>・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔を心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中の言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。</p>
	<p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>・保育士としての質向上 子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員自身が自分で考え行動する力を育む事で、どろんこ会グループ理念に沿った保育につなげています
	内容	園では、保育者が自ら率先して行い、園児に自分の背中を見せながら保育を実践しています。子どもはそれに呼応して、様々な活動に自主的に取り組む姿勢を見せています。また職員の間には上からの指示を待つのではなく、やるべき保育、やりたい保育を自身で考え実践する風土が醸成されています。特にリーダー職は、現時点での自分の思考やスキルを超えた課題に対しても、「まずは、やってみよう」という意識を持ち、メンバーに働きかけています。これが保育実践力の向上につながり、グループ理念である子どもの人間力を育む素地となっています。
2	タイトル	職員同士の関係が良好で、情報共有や意見交換、提案が活発に行われ、子ども中心の保育実践と業務連携の強化につながっています
	内容	園は先輩、後輩に関係なく、互いに明るくはきはきとコミュニケーションできる雰囲気醸成に努めています。多くの職員も、園内の人間関係が良好な事から、共有チャットによる情報伝達、日常での子どもの情報共有、業務連携などが活発に行われていると感じています。これが、子ども中心の保育及び、クラス同士が交流する異年齢保育の豊かな実践につながっています。その表れとして、朝の散歩準備で玄関先の忙しく賑やかな中で、職員たちが子どもと明るく接する様子や、子どもがどの職員にも物怖じせず親しみを込めている様子が見られます。
3	タイトル	子どもの意思と自主性、主体性を尊重し、異年齢保育による子ども同士の関係性作りを通して豊かな体と心の育みを実践しています
	内容	朝夕の合同保育においては、子どもたちは個々に好きな遊びを選んで遊びます。朝9時に全員が散歩に出かけますが、雨の日には子どもたちが自由に行き来できるように保育室を開放します。0、1歳児は自分で階段を下りて1回の2歳児室へ遊びに行きます。保育者はそばで安全に注意しつつ、過度な援助はせずに見守ります。子どもたちは好きな部屋で好きな遊びを選び、年齢クラスを越えて一緒に活動します。その中で年上と年下の子ども同士で支えたりあこがれたり、たまには衝突したりして、関係性を深めながら様々な思いも経験し、成長しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	大規模災害時想定の実業継続計画(BCP)については、子育て支援の観点から園業務の継続、早期復旧に関してのさらなる充実を期待します
	内容	昨今は、めまぐるしく変化する天候や各地で発生している地震災害、今後の大地震予測などにより、全国で危機感が高まっています。これに備えてどろんこ会グループ共通のクライシスマニュアルと事業継続計画(BCP)が整備され、グループ統一の信頼感のある対応体制作りが行われています。今後は、安全確保に加えて子育てニーズへの対応という観点から、園業務の継続や早期復旧・再開への手立てや備えなどの検討を進める事を期待します。命の安全に加えて子育て支援への見通しにつながり、保護者のさらなる安心感にもつながるでしょう。
2	タイトル	目指す保育力のレベルアップについては、現在継続して取り組んでいる活動の中で実践してみたいかがでしょう
	内容	園は自からの課題として、保育力のレベルアップを挙げています。これは、新しい課題に挑戦していくためのスキルアップを意味したものです。具体策として、各種研修で保育力に磨きををかけていくことなどを挙げています。その一方、園全体で前年度より取り組んでいる日課活動の実践、保護者との信頼関係の構築などにも、スキルアップにつながる要素がちりばめられています。これらについてPDCAを重ねていく中で、スキルアップのチェックポイントを精査し、意識して育成につなげていく事でも、目指す成果が期待できるでしょう。
3	タイトル	園を地域に深く根ざし地域と共に子育てを行う園としてアピールするために、地域活動の活性化に加え集客増のさらなる工夫にも期待します
	内容	選ばれる園として自園の魅力をアピールするために、地域の人を巻き込んだ子育ての協働環境作りを目指しています。ちきんえつぐなどの地域支援活動に加えて、食育のクッキングの際に地域の人を招待、特色・特技のある人物を招いての講演や実演会などの案を検討しています。このように地域に活動の輪を広げていく事に加えて、現況においては集客数の増強も園は重視しています。そのために現在はチラシ配布、散歩時での地域の人との触れ合いの強化などを行っていますが、顕著な成果を得るために周知拡大への粘り強い工夫を期待します。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	地域活動をベースに、地域の子育て支援施設として園の認知度アップを図っています	
内容①	<p>地域に根付いて地域と共に子育てを行う園として、その位置付けの実現のために、園は様々な地域活動に取り組んでいます。その中で園は、地域の子育て支援の拠点としての魅力をいかにアピールするかを課題と捉えています。例えば、夏のどろんこ祭りでは地域の関連施設に告知ポスターの掲示協力を依頼して、集客拡大に努めています。また、自治体の補助金を活用して様々な企画を検討しています。さらに、日常の保育活動において商店街の散歩では、商店の人をはじめ地域の人々と積極的に挨拶を交わすなど交流を深めています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	計画に基づいて全職員が、子どもと同じ目線に立って食育活動に励んでいます	
内容②	<p>年齢ごとに食育目標と目指す子どもの姿を年間の食育計画に記載し、家庭・地域との連携も図っています。意欲ある子どもを育むために「美味しく楽しく食事を摂る」「国内産、高品質の食材」「日本人らしい食事」を大切に考えるグループ方針に沿って、専門職員を配置して季節食や行事食を提供しています。昼食時は家庭と同様に大人（施設長を含む全職員）も園児と一緒にテーブルに着き、同じ給食を食べています。また2階のテラスに皆で集まり、畑で収穫した野菜を取り入れた給食を食べ、子どもたちは食材に対する興味も深めています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	子どもの育ちについて、保護者がわかりやすい形での情報共有を徹底しています	
内容③	<p>開園3年目の園として、子どもを真ん中にしての保護者との信頼関係を深める取り組みを進めています。そのために子どもについての情報共有の徹底に重点を置いています。具体的にはまず、お迎え時の3分間対応を徹底し、園での子どもの様子についてわかりやすい説明に努めています。またアプリのタイムライン機能を用い、子どもの活動の様子や昼食、おやつを写真でビジュアルに伝えています。さらに運動会や生活発表会の行事では、そのために練習するのでなく、日常の生活や活動で培われた成長、発達の様子を見てもらえる形の企画を工夫しています。</p>	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		
	評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
	評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
	評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ1の講評		
	<p>理念、目標については多様な機会を通じて、職員、保護者への浸透に努めています</p> <p>玄関に入ると、受付カウンター前に打ち出された保育理念「にんげん力。育てます。」や保育目標などの基本的な考え方が、まず目に入ります。これらは入園のしおりや保育品質マニュアル、全体的な計画などにも示してあります。また年度ごとに、本部による全体研修や、次年度計画の策定会議、キックオフミーティングなどにおいて、職員全員で確認しています。新人職員は、系列他園でのOJT研修でも業務実践を通じて理解を深めています。保護者に対しては入園時の説明や保護者会、行事、園だよりなど、様々な機会でも周知・浸透に努めています。</p> <p>施設長はグループ理念に沿って保育活動の方向性を示し、園をリードしています</p> <p>施設長は毎年、次年度の諸計画を決定する策定会議において、どろんこ会グループ共通の理念や方針を職員に対して改めて確認します。それを踏まえて、施設長自らの役割を含め、園の活動方針、職員の役割などを説明しています。その中で、「子ども主体の保育」になっているかを常に振り返り、手を貸す前にまずは見守る事の大切さを伝えています。また日常においても、保育者の役割は保護者の代わりに子どもの生きる力を育む事、そのために自らが背中を見せて行動する事の大切さも伝え、園全体の保育活動においてリーダーシップを発揮しています。</p> <p>重要案件は内容ごとに定めた検討過程を経て決定し、職員、保護者へ周知しています</p> <p>重要案件については、毎月の園会議もしくは、日々の昼礼など適切なタイミングで検討します。人事や大規模予算が関係する案件などは、運営本部にその裁可を諮ります。決定した内容は職員に、園会議や昼礼などで検討過程などとともに伝えます。欠席者には議事録回覧と押印にて、確実な周知に努めています。緊急度などに応じて園の共有チャットで伝達する場合もあります。保護者に対しては、随時のおたより配付、連絡アプリを通じて周知しています。例えば緊急時の送迎の仕方など、内容に応じて送迎時に口頭説明による重ねての確認も行っています。</p>		

2	カテゴリー2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
			6／6
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
	評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
		5／5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している			
評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー2の講評			
<p>アンケートや面談などで、保護者と職員の意見や要望の把握と検討に努めています</p> <p>保護者の意向については、毎年9月の利用者アンケート、希望による個人面談などで把握しています。また、毎日の送迎時や連絡アプリなどできめ細かいコミュニケーションに努め、意見や提案などに対して検討しています。保護者懇談会においては、全体に加えてクラスごとでの話し合いも行い相互理解を図っています。職員の意向や意見などについては、定期的な個人面談や、毎年9月のキャリアデザインアンケートなどで把握し、対応を検討しています。また、施設長の意向についても、運営本部が毎年アンケートを行い把握、検討する仕組みがあります。</p> <p>自治体や関連機関、どろんこ会グループから地域・全国の子育てニーズを捉えています</p> <p>子育てに関する地域情報や業界の動向については、市の園長会や関係機関、自治体のホームページやメールなどから把握しています。また、どろんこ会グループの社内報を通じて、グループ外の園の事例なども伝えられています。現況においては各園の方針に沿った保育内容の実践状況、保護者の要望への対応、また全国的な保育園の設置状況と少子化について、話題に上っています。当園としては地域での交流や子育て支援活動をより活性化し、選ばれる園として園の存在と特性を一層アピールしていく事の必要性を認識しています。</p> <p>どろんこ会グループ方針のもと、連動した中期計画と単年度計画が策定されています</p> <p>事業計画は、運営本部のミッションを基に園としての課題を踏まえ明確な項目立てで、3か年計画と単年度計画が連動した形で策定されています。さらにそれらを踏まえて、保育の全体的な計画や年間指導計画なども策定されています。これにより、どろんこ会グループ方針と園の事業計画、保育計画は密接に連動していると言えます。3か年計画、単年度計画ともに内容の柱立てがわかりやすく、進捗の振り返りや次期に向けての方針検討が明確になされています。</p>			

カテゴリ－3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ－1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○ 非該当
サブカテゴリ－2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○ 非該当
サブカテゴリ－3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○ 非該当

	カテゴリー3の講評
	<p>職員としての心得については、研修や振り返りなどで遵守意識の浸透に努めています</p> <p>職員として守るべき事柄については就業規則、保育品質マニュアルなどに明記されています。新人職員はこれらについて本部で研修を受け、個人情報の扱いを含めた機密保持について誓約書を交しています。また全職員は年2回の人権チェックで、子どもの尊厳を守る保育を確認するとともに、毎月「コンピテンシー」ブックを用いて望ましい行動特性に沿って規範意識についても自己を振り返っています。さらにオンラインでの定期定な情報セキュリティチェックやコンプライアンスチェック、年2回の内部監査などで、遵守状況の確認が行われています。</p> <p>苦情対応、虐待防止の仕組みを整え、適切な実践につなげています</p> <p>苦情については、保育品質マニュアルに沿って迅速な対応の仕組みができています。保護者へは、入園のしおりに受付担当者や解決責任者、第三者委員などを明記し入園時に説明するほか、「苦情解決につきて」の文書が玄関に備えてあります。苦情は受け付けから解決に至るまでを「ご意見・ご提案シート」に記録し職員全体で共有しています。虐待防止については年2回の人権に関するチェックで、理解を深め防止意識を高めています。家庭での虐待に関してはまず本部の担当課長と相談し、必要に応じて関係機関と連携しながら対応しています。</p> <p>多様な地域活動についての周知を進め、地域に強く根付いた園を目指しています</p> <p>園は子育てニーズに基づき地域の子育て支援活動を充実させ、選ばれる園として地域への浸透を図っています。どろんこ会グループが展開する「ちきんえっぐ」では、未就園児を対象とした青空保育をはじめ、多様な活動を行っています。このほか、玄関先での無人・無料のフリーマーケット「勝手籠」、イベントを通した園児と高校生との交流、高齢者施設への訪問など、地域活動は豊富です。このような中で、園はイベントへの参加増を目指し、ホームページ以外にも散歩先でのチラシ配布拡大など、地域活動の一層の周知に努めています。</p>

4	カテゴリー4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー1(4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
			5／5
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
	評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当	
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
サブカテゴリー2(4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
		4／4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<p>リスクに関して、グループ共通のマニュアルのもと一貫した対応体制が敷かれています</p> <p>リスク対策については、事故、災害、感染など種類に関わらず生命の安全を最優先に捉えています。リスクごとに様々な事態発生の可能性や他園の事例などを勘案し、どろんこ会グループで一貫した予防や対応の仕組みが整えられています。保育品質マニュアルとともに、保育運営マニュアルとして衛生管理、感染症、危機管理等々グループ共通のマニュアルが整備され、毎年職員全員の再読が義務付けられています。また深刻な災害時を想定し、安全確保のうえでの組織的な対応として、クライシスマニュアル、事業継続計画(BCP)が整備されています。</p> <p>リスクに対しては、予防、訓練、再発防止など実践面での施策も徹底されています</p> <p>リスク対応については、実践面にも力を入れています。事故や災害、不審者侵入など多様な発生状況を想定しての避難訓練が、今年度は16回の計画に沿って実施されています。実施後は振り返りを欠かさず行っています。戸外活動では、係を決めての人数ダブルチェックが徹底され、バスでは最後列席からの視認も行っています。日常のけが防止に対しては、危険を予測しながらの保育を重視して研修を実施しています。事故などの発生時には、事故記録簿、インシデント報告書、ヒヤリハット報告書に、原因、再発防止対策も含めて記録しています。</p> <p>守秘情報には徹底した管理体制及び実践、チェック体制が整えられています</p> <p>守秘情報の管理については、職員は入社時に本部研修を受け、誓約書を交わしています。全職員が年2回の情報セキュリティチェックを行い、理解を深めています。デジタルデータは使用パソコンを定めてパスワードによるアクセス制限をかけ、紙媒体は施設長が鍵付きの書庫で管理しています。そのほか、携帯は園貸与のみ使用、USBなど外部記憶媒体は一切使用禁止等々、漏洩防止策がとられています。なお、個人情報の使用については情報公開要綱が定められていて、玄関での掲示とともに、保護者に対してオンラインによる周知と同意確認を行っています。</p>			

カテゴリー5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12／12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <div> <div> <div>評価</div> <div>標準項目</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる</div> <div>○ 非該当</div> </div> </div>		
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <div> <div> <div>評価</div> <div>標準項目</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している</div> <div>○ 非該当</div> </div> </div>		
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <div> <div> <div>評価</div> <div>標準項目</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている</div> <div>○ 非該当</div> </div> </div>		
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <div> <div> <div>評価</div> <div>標準項目</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている</div> <div>○ 非該当</div> </div> </div>		
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3／3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる <div> <div> <div>評価</div> <div>標準項目</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている</div> <div>○ 非該当</div> </div> <div> <div>●あり ○なし</div> <div>3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる</div> <div>○ 非該当</div> </div> </div>		

	カテゴリー5の講評
	<p>職員の配属や異動については、リーダー育成を念頭において検討、決定しています</p> <p>職員採用は、本部人事採用部が一括して行っています。募集は主に、どろんこ会グループのホームページで、子育て方針やグループ園の魅力などの紹介とともに、求める人材像を明確に打ち出して応募を呼びかけています。新卒者への説明会や園見学、面接などを経て、グループ理念に共感できる人材を採用し、配属先は、園ごとの人材ニーズを考慮して決定します。職員の異動や配置については、個人面談で本人の意向を把握し、本部の担当課長と相談しながら決定しています。組織作りについては、リーダー育成を重視して取り組んでいます。</p> <p>職員の主体性を尊重した人事制度が導入され、キャリアパスも明確となっています</p> <p>どろんこ会グループ共通の人事制度の中に職員の主体性を重視した目標管理が導入されています。施設長との年2回の面談で目標設定、進捗状況確認、評価を行い、昇格・昇級などへの連動とともに、次年度の目標管理にも反映させています。また等級ごとに、職務の役割や位置付けを表すキャリアステージ、求められる能力、昇格基準などが定められ、自身の将来展望を描きやすい制度となっています。制度に沿って、多様な研修、本部による子育て（保育）の質を上げる会議、毎月のコンピテンシー自己採点などが実施され、スキルアップの環境も整っています。</p> <p>組織力向上のため、職員の細かなスキルアップとチームワークの強化に務めています</p> <p>施設長は目標管理面接で職員の就労状況も把握し、環境改善を検討する一方、決まった時間内に各自がやるべき事をリストに記入し、業務の効率化を目指す仕組み作りも行っています。そのほか内容を整理して話す研修など、職員の基本スキルの育成にも力を入れています。またチームワークの強化として共有チャットを用い、業務提案や情報伝達などを職員相互で行っています。さらには、保育室が分かれた環境下で異年齢保育を効果的に行うため、クラスを越えて園児が交流しやすい活動プログラムを話し合うなど、職員同士の連携を深めています。</p>

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>どろんこ会グループの日課や基本活動の実践の徹底を目標として、朝の活動であるリズム体操、座禅、雑巾がけ、畑仕事の徹底に取り組みました。思いきり身体を動かせるように、朝の合同保育の場所を0歳児の広い保育室に移し、8時15分からの開始を極力徹底できるように保護者に協力を依頼しました。取り組みに当たっては単なる作業とならないように、職員が率先して真剣に、かつ楽しんで取り組む姿を子どもたちに見せるように心がけました。秋ごろには以前より子どもたちが生き生きとして行う様子が定着し、リズム体操では曲に合わせて自然に体を動かすようになりました。雑巾がけの効果として、転んだ時に手を出せるようになった様子も見られました。取り組み状況は、リーダー会議で随時報告し合いました。全体の振り返りとして、朝の活動では2歳児の登園時間が比較的遅い事、畑仕事のほかには比べて深みをもって定着できていない事が課題となりました。今後は、登園の遅い子どもについては、別個に活動できる機会の設定を検討し、畑仕事においては野菜の苗植えや種まき、水やりごとに、子どもたちへの細かな語りかけを心がけるとともに、コンポスト作りにも取り組む事としています。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>本取り組みは、朝の一連の活動がグループの理念、子育て目標に基づく活動であり、子どもたちにとって単純作業の繰り返しであってはならないとの考えによるものです。保育者にとっても同様で、今までの活動を振り返り、その意義を改めて強く認識して活動につなげてもらうねらいもありました。そのために、活動環境から見直して新たな気持ちで取り組みました。開始時間の徹底については、子どもたちが一体となって行う事を重視してのもので、保護者へも協力の依頼を通して活動の意義の周知に努めました。取り組みに際して心がけた「職員が自ら率先して行い子どもたちに背中を見せる」事もまた、グループの保育方針でした。結果として、子どもたちが日課活動の良さを体感できている様子が見られるようになりました。また、雑巾がけによる徒手力育成の効果も、運動会で保護者に見せる事で伝える事ができました。検証結果として、活動の開始時間に登園できない子どもへの対応、畑仕事の活動をさらに深める事が今後の継続課題として確認されました。しかし本取り組みにより、職員も実践の中で活動の意義の理解を深める事ができました。今後の継続により、さらなる成果の顕在化が期待されます。</p>	

<p>評価項目2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>開園3年目の園としては、保護者支援の土台となる保護者とのさらなる信頼関係の構築が必要と考え、よりていねいな保護者対応の実践に取り組みました。取り組み内容としては、「お迎え時の3分間対応の充実」「連絡帳への記載内容の質向上」「お迎え時にお待たせする場合の気遣い」の3点としました。内容から、取り組み参加者は全職員としました。3分間対応ではその準備をポイントとして、保護者への伝達事項をあらかじめ「シッターノート」にメモしておく事を徹底しました。また、連絡帳への記載の仕方については、園会議にて研修を行いました。子どもを待つ保護者への気遣いについては、季節感を大事にした玄関掲示物の工夫や子どもの活動の様子を伝えるポートフォリオ掲示の充実に努めました。これらの取り組みについては、次年度の計画の策定会議で振り返り検証を行いました。結果としてそれぞれについては、取り組みの趣旨を意識して実践できた事が確認されましたが、まだその成果が保護者から明確に得られるまでには至っていません。また、取り組みにより業務負担が増えた事で、いかに効率的に行うかが課題となりました。今後もさらに精度を上げて継続していく方針です。</p>	
<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>園は保護者支援の充実に努めていますが、施設長には、全保護者に平等に対応できているかとの思いがありました。そこでまず保護者との信頼関係を深めていく事が重要と考えました。その中で、特に保護者への気遣いやコミュニケーション能力など基本的なスキルの向上を、取り組むうえでのかなめとしました。3分間対応では、時間の長さではなく会話の中身、すなわち言語化のスキルが大切でした。連絡帳の記載についても同様です。また子どもを待つ保護者に対しては、掲示物の工夫に加えて「今、おむつを替えていますので」といった声かけの気遣いも大切と考えました。これら基本スキルが、職員の経験年数や個性などで差がある現状を踏まえ、高い水準で標準化する事が本取り組みの大きなポイントでした。取り組みの検証としては、まだ信頼関係構築の成果は得られていないとされています。しかし園は、取り組み以前に比べて保護者の日常の反応はより良好に感じ取れていますし、開園以来初めて行った今年度の第三者評価の利用者調査結果でも、全体的に良好な評価が得られています。この状況を受け止め、今後も職員の学びも含めて継続して行う事で、成果はより具体的な形で表れてくるでしょう。</p>	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4／4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○ 非該当
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○ 非該当
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○ 非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<p>園や市のホームページで、園の情報をていねいにわかりやすく提供しています</p> <p>園のホームページには基本情報、サービス内容、お知らせ、問い合わせ方法などが明記されています。お知らせでは園だより、子育て支援活動情報の「ちきんえっぐだより」、年間スケジュール、献立表、各種申請書類などが掲載されています。また、どろんこ会グループ共通の特徴ある保育内容も閲覧でき、写真を多用してビジュアルでわかりやすく紹介されています。市のホームページでは、ライフメニユーの入園・入学のページから園の情報を閲覧する事ができます。本部のサービスデスクでも、ホームページや電話での問い合わせに対応しています。</p> <p>地域の子育てへの積極的な関わりに努め、市の関係機関を通じて情報発信もしています</p> <p>ホームページでは、地域との関わりを重視して情報発信をしています。各系列園が行う地域子育て支援活動「ちきんえっぐ」の活動内容を毎月掲載し、寺親屋、自然食堂、芸術学校、青空保育、園庭開放などの様々なイベントの紹介を行っています。また活動報告やニュースも掲載され、地域の親子が気軽に参加できるように周知に努めています。市のホームページへの園情報の提供に加え、地域に密着した活動内容の発信として、市役所や児童館、市の子育て拠点であるつどいの広場、公民館に園の活動についてのチラシの設置なども行っています。</p> <p>園への問い合わせや見学には、状況に応じて適切な配慮と迅速な対応を心がけています</p> <p>電話やホームページなどから見学申し込みがあった場合は、希望者の都合の良い日を相談して日程を決めています。ホームページへの問い合わせについては迅速に回答するよう心がけており、見学希望の保護者には希望に添った日にち設定に努め、園都合ではなく保護者の実情に合わせて日程・時間を調整するよう、全職員での徹底を図っています。散歩や午睡など子どもたちの活動時間を配慮して、見学時間は午前10時から、午後は3時以降に設定しています。また予約のない来園でも入園のしおりでの説明だけでなく、可能な限り見学対応しています。</p>		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>			
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
	● あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○ 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>			
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○ 非該当
	● あり ○ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○ 非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園に当たっては保護者と確認し合い、保育の方向性に同意を得るようにしています 2月に入園が決定し、0歳児の健康診断日に合わせて入所前検診と面談を実施します。入所前面談にて、入園のしおりに沿ってていねいに説明し、重要事項説明書を読み合わせ、1つ1つ確認し合い、説明の漏れがないかも確認して保護者に署名、捺印してもらいます。特に利用料金、延長保育予約については細かいルールが定められており、高額な請求が発生するケースもあるため、誤解のないように説明を心がけています。保護者から伝えられた意向や子どもの個性、配慮すべき点、アレルギーの有無などは入所前児童面談票に詳しく記載しています。 子どもの情報について全職員が共有できるように、体制が整えられています 入所前児童面談票に基づいて、専用アプリの登録フォームに基本情報として記録しています。その後全職員が記録を確認のうえ情報共有し、記録は子ども個々にファイルを作成して管理しています。アレルギーのある子どもに関しては、調理職員、担任、施設長などで個人面談を行い、アレルギー除去食開始前面談票に記入し、除去食申請書、生活管理指導表とともに保管します。また1年に2回、アレルギー検査を受けた後に面談を実施しています。職員間での情報共有は月1回の園会議を中心として、そのほか必要に応じて昼礼などでも共有しています。 入園直後は、子ども一人ひとりの状況に寄り添って対応しています 園では、子ども一人ひとりの状況に合わせて園での生活環境や職員の関わり方に配慮しています。入園直後の子どもについては園生活にスムーズに溶け込めるように、子どもの状況に合った形で保護者と連携しながら保育を進めるように配慮しています。入園までの生活の様子、子どもの状況、園への要望などについて、ていねいに聴取・相談しています。また、希望者に対しては慣れ保育を行っています。子どもの状況を確認しつつ、保護者と相談しながら無理のないように在園時間を伸ばしていき、園生活に慣れていく事ができるようにしています。			

サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 13／13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○ 非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○ 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○ 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○ 非該当
サブカテゴリー3の講評		
子ども一人ひとりの指導計画を園の統一した様式に記録し把握しています 年齢ごとに、目標やねらいを定めた年間指導計画を作成しています。養護と教育それぞれにねらいを定め、0歳児は健康に配慮し身近な人、物との関わり、1、2歳児は健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域における内容となっています。また子ども一人ひとりについての月間個別指導計画が、前月の姿から今月の計画を養護、教育で立て、省察の記入も行っています。クラスごとに毎月、目標、ねらい、家庭との連携、異年齢保育、長時間にわたる保育、地域との連携に関する記載も毎月行い、計画内容はクラス会議内で共有しています。		
子どもの実態や取り巻く状況の変化に応じて計画の作成、見直しをしています 個別記録に記入する事で保育の定期的な振り返りを行うとともに、行事の中での子どもの様子や言葉を記すエピソード記録からも子どもの姿の変化を捉えられるようにしています。個別的な計画が特に必要な子どもについては個別支援シートを作成し全職員が一貫した対応ができるように共有しています。市の「子どもの発達支援・交流センターとことこ」の言語聴覚士及び作業療法士より年2回、巡回指導で対応の仕方のアドバイスを受けています。年間指導計画は年4回、月案・週案・日案は、それぞれ省察を踏まえたうえで見直しを図っています。		
指導計画については保護者にもわかりやすく説明し、アンケートも実施しています 年2回6月と11月に開催される保護者懇談会にて、指導計画・成果の資料を配付しています。懇談会は平日の18時から19時までの1時間で、園からは施設長、主任、クラス担任が出席します。指導計画は当日、冊子で渡して半期の保育内容、成長した子どもの様子を伝えます。また毎年9月ごろに「利用者アンケート」を実施し、集計後に全保護者が閲覧できる形でフィードバックしています。アンケートで得た改善すべき内容に関しては、園会議などで取り上げて改善策を全職員で検討し、指導計画の見直しにも反映させています。		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
● あり ○ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>保護者の同意を得てプライバシー保護に配慮した保育を心がけています</p> <p>どろんこ会グループでは個人情報保護の重要性から、子ども・保護者・家庭に関する個人情報を適正に使用・利用・管理するとともに正確性、機密性の保持に努める方針を文書で打ち出しています。写真や動画の取り扱い方針についても明記され、入園時に保護者に同意を取っています。また子どもの安全確保・誤与薬防止などの観点から、名札は園で管理して朝の受け入れ時に取り付け、夕方の降園時に取り外しています。通園かばんに取り付ける名札は個人情報保護の観点から、公の場所の際には裏返すようにしています。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重することを大切に、日常のきめ細かい配慮に努めています</p> <p>子どもの名前を呼ぶ時は必ず敬称を付け、呼び捨てやあだ名を付けた呼び方は禁止しています。子どもが自ら興味を示した遊びに対してむやみに援助せず、まずは見守りやる気を応援し、取り組んでいる際は安全を確保して必要最低限の補助を行う事にしています。また、全職員に対して年2回の人権チェックを実施して子どもの人権尊重について確認し、自身の保育のあり方について振り返っています。子どもの尊厳を守るために、例えばおむつ替えや、おねしょ、おもらしについては羞恥心に配慮して、他の子どもに見えない場所で着替えをしています。</p> <p>虐待防止については、勉強会・研修会を実施して職員の意識強化に努めています</p> <p>子どもの人権尊重として、虐待防止への取り組みについても力を入れています。重要事項説明書には虐待防止のための措置について関係機関への速やかな連絡体制についてなど、対応の方針を記載し保護者に説明しています。また、園内においても虐待防止については、手引きとして虐待防止マニュアルに、虐待の定義とともに虐待を生まないための日常の配慮や早期発見のための気付きのポイントなどが記載されています。これとともに園会議での年2回の人権チェックや虐待防止研修を実施する事によって、職員の理解を深め、意識を高めています。</p>			

サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー6の講評			
グループ共通の各マニュアルに基づいて、一貫した保育を実践しています 安全を守り、質の高い保育を提供するために、どろんこ会グループ共通のマニュアルが充実しています。「保育運営マニュアル」は、衛生管理・感染症・危機管理・虐待対応・苦情対応・給食提供などについての運営ルールが記載されています。全職員に貸与の「保育品質マニュアル」は、職員にとってあらゆる業務活動の手引きとなっています。このほか、質の高い業務のための行動特性を確認する「コンピテンシー」ブックもあります。これらを深く理解し、実践につなげていく体制を整え、全職員による一貫した質の高いサービスの提供に努めています。 保育の質維持と向上のため、マニュアル類の点検や実践状況の確認に努めています どろんこ会グループでは系列の各園に対して、保育品質マニュアル及び保育運営マニュアルの実践状況などについて年2回、運営本部の内部監査室によって監査を実施しています。命や安全に関わる事や保育内容、保育環境について客観的な視点で行っています。実践できていないと判断された項目については、施設長が提出した是正内容・是正期日を確認し、是正を見届けます。そのほか、品質マネジメントシステムに関する国際規格(ISO)認証機関や、第三者評価など外部機関による審査も定期的に受審し、保育の質の維持、向上に努めています。 職員は日常的に各マニュアルを活用して日々の保育に役立てています 「保育品質マニュアル」に記載されているが、病気、衛生管理などへの対応のフローチャートは、保育室内に掲示またはリング止めをして配備し、常に確認できるようにしてあり、職員が適切に対応できるようにしています。またマニュアルで定められた事故防止チェックリストや設備点検チェックリストを用いて、実施漏れがないかを定期的に確認しています。職員は勤務時において「保育品質マニュアル」をいつでも確認できるようにしています。「保育運営マニュアル」は事務所に常時設置してあり、職員がいつでも閲覧できる状態にあります。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	35／35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)・非該当1</div>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当
	○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	● 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりが主体的に遊べるように、環境設定を工夫しています</p> <p>1階に2歳児、2階に0、1歳児それぞれの保育室があり、各保育室で遊びの環境設定を工夫し、子どもは遊びに興味を持って主体的に楽しんでいます。例えば0歳児にはマットや滑り台を使って体を動かす動の遊び、1歳児には玩具コーナーでの遊び、2歳児にはパズル、描画など静の遊びを取り入れています。0、1歳児の子どもの中には、保育者の見守りのもと階段の上り下りに積極的に挑戦する姿も見られます。通常保育は各クラスの週案、日案に沿って行いますが、異年齢保育を行う場合はその担当が計画書を作成し、全職員で共有しています。</p> <p>年齢や文化など、子ども同士の違いを認め合い尊重し合う心が育つ環境ができています</p> <p>異年齢保育については「年齢が違う子同士、すべての子がやってみたいこと、思い通りにならないこと、すべて実際に経験するために」との考えに立ち、共に生活し遊びを教え合う環境作りに努めています。0、1歳児については学年別でなく、歩行の確立など発達段階に合わせた保育を行っています。年下の子どもに優しくし、年上の子どもの遊びにあこがれ、模倣するなどしながら互いに学び育ち合える「大きな家」になっています。また外国にルーツを持つ保護者に話を聞いて、自分との違いを感じる異文化体験も実施しています。</p> <p>成長の過程におけるトラブルには、互いの子どもの気持ちを尊重した対応をしています</p> <p>成長過程においては、子ども同士でいろいろなトラブルが発生します。そのような時、園では互いの子どもの気持ちを尊重して保育者が代弁して寄り添うようにしています。保育者の立場で一方的な判断をしないように配慮しています。保育品質マニュアルに子ども・保護者の対応の基本に明記してある通り、子ども同士で問題解決ができるように、保育者はまず互いのやり取りを注意深く見守る事もあります。またトラブルの様子や懸念事項は全職員が共有し、毎日の振り返りや園会議、ケース会議などで今後の対策を検討し、実践しています。</p>			

2

評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<div> <div>○</div>非該当 </div>

評価項目2の講評

登園時には、子どもの様子をしっかり確認するように心がけています

登園した際は視診、検温のほかに保護者から前日に降園してからの家庭での様子や当日の体調を聞いています。また、保護者からの情報は「シッターノート兼お迎え伝達ノート」に記録したうえで、重要な内容に関しては朝礼などで職員間で共有しています。体調が思わしくない子どもに関しては、保護者の希望があれば室内活動などに変更し、こまめに検温や体調確認を行い、お迎え時に様子を詳しく伝えています。また全身の状態もよく確認し、家庭での気になるけががあった場合は、写真を撮って大きさや日時などがわかるように記録に残しておきます。

一人ひとりの子どもの状況に配慮して、午睡時間を設定しています

朝の受け入れ時に子どもの睡眠について保護者から要望があった場合は、それに応じて極力配慮するように努めています。0歳児は午前寝をしたり、1歳児は午前中に15分ぐらい仮眠を取ったりします。2歳児は9時からの散歩で目いっぱい活動をするので、昼食後に午睡時間を設けています。また、眠れない子どもを無理に寝かしつけたり、寝ている子どもを無理やり起こしたりしないように配慮しています。眠れない子どもはほかの子どもの睡眠を妨げる事のないように静かに遊んだり、まだ眠い子どもは15時のおやつまでは寝るようにしています。

降園時には3分間対応を励行し、その日の子どもの様子を保護者に伝えています

どろんこ会グループで創業以来守り続けている、3分間お迎え対応を実践しています。保護者に代わって子育てをする園として、1日の終わりに子どもの体や心の状態、その日経験した事や挑戦した事、思う通りにいかなかった事などを手に取るようにわかりやすく伝えて保護者に伝えています。そのために、遅番の保育士には引き継ぎを徹底し、日中の子どもの様子を伝えています。お迎え時の対応は、連絡帳アプリとともに保護者との子どもの情報共有にもつながり、保護者との間で子育ての様々な対応策が立てやすい環境が整えられています。

3

評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<div> <div>○</div>非該当 </div>
<div> <div>●</div>あり <div>○</div>なし </div>	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<div> <div>○</div>非該当 </div>

評価項目3の講評

子どもが自主的に遊び込める環境を重視し、表現する喜びも大切にしています

雨天時の室内活動では、保育室を年齢ごとではなくテーマで分けて活動しています。0歳児室ではマットや滑り台を利用して屋根付きのテラスで体を動かしています。1歳児室ではままごと遊び、人形遊び、ブロック遊びなどのコーナー遊び、2歳児室ではパズル、描画など、それぞれの部屋に異年齢の子どもが集まって好きな活動に取り組んでいます。保育者は過度な援助を避け、安全に注意して見守ります。また、遊びを通した表現の育みも大切にして、0、1歳児の自己表現の学びのため、低い位置に鏡を設置するなどの工夫も行っています。

子どもが言葉に対する感覚を養い、自分の気持ちを表現できるよう日々配慮しています

保育者は子どもに対して常に視線を外さないようにして、年齢、発達に合わせた関わり方に努めています。せかさず、ゆったりとした間合いを大切に、自らきれいな発音を心がけ、子どもの発語、会話を促しています。日々の生活の中で、おはよう、いただきます、ごちそうさま、さようならの挨拶、ありがとう、ごめんなさい、貸して、どうぞなど、場面に応じた言葉で代弁したり、大人が見本となるように配慮しています。そのうえで自分の気持ちを表現し、きまりやルールなどに伴って気持ちを調整する事の大切さを、ていねいに伝えています。

季節の移り変わりを感じ取れる園外活動に力を入れています

どろんこ会グループでは遊び・労働・食事・休息のサイクルを大切に、園でも毎朝散歩に出かけます。午前中は目いっぱい太陽の光を浴びて体を動かしてお腹いっぱい昼食を食べ、休息し午後の活動につなげていけるように毎朝9時に散歩に出発します。4月から徐々に距離を伸ばし、11、12月を目安に2歳児は往復4キロメートル歩く事を目指しています。散歩で目的地までの道すがら、季節の花を摘んだり、ばった、せみの抜け殻、みみず、とんぼを観察し園で図鑑で調べる事もあります。園の虫かごに、開園当初からのかたつむりが飼われています。

19 / 25

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目4の講評		
	<p>子どもたちが興味をもって参加し、主体的に取り組める行事を工夫しています</p> <p>年間行事、体験活動を決める際は毎年、年間行事を白紙に戻す姿勢で考えます。決まっている行事を習慣としてこなすのではなく、保育者一人ひとりが「子どもたちにとって何が必要か」を考え、経験させたい体験を活動に入れるようにしています。子どもの姿、興味や関心、季節感などを踏まえうえで行事内容を考えます。行事のための行事でなく、日常生活の様子とその成果を見てもらえるようにしています。夏祭り、運動会、生活発表会などでも日常の活動の延長上で種目内容を考え、保護者が子どもの成長した姿を実感できるように努めています。</p> <p>低年齢の子ども の状況に合わせて、団体活動行事を実践しています</p> <p>運動会や発表会などの行事では、0～2歳児対象の園として子どもたちの発達状況に合わせて日常の保育を反映させています。運動会は2階の0、1歳児の保育室を使って行われ、0歳児は親子でのふれあい遊び、1歳児はマットで作った山を登ったり跳んだりする運動、2歳児は保護者から離れて入場行進を行います。発表会では入園してからその当日に至るまでの子どもの姿を振り返ります、また1歳児は食事風景を掲示したり、2歳児は製作物の掲示をしたりします。歌に合わせてみんなでダンスしたりと、日常生活や遊びをふんだんに取り入れています。</p> <p>保護者の協力体制が大きく育っており、行事を盛り上げてくれています</p> <p>行事についてはアプリのタイムラインや連絡帳で、準備段階から保護者に様子を伝えていきます。日常と環境が異なる行事当日に向けてのアドバイスなども行っています。夏祭りの際は掲示などで「どろんこサポーターズ募集」を打ち出し、保護者の協力を求めています。開園以来、徐々にサポーターズのメンバーが増えて、現在は保護者主導ともいえるほど積極的な協力体制が進んでいます。かき氷、焼きいも、焼きとうもろこしなども、どろんこサポーターズの保護者たちが提供してくれました。今後の盛り上がりにも、園も期待を寄せています。</p>		
5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
		評価項目5の講評	
	<p>保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるように、環境や関わり方を工夫しています</p> <p>午睡後の15時30分から16時30分までの1時間は散歩に出かけたり園庭で遊んで過ごしたりしています。18時以降は延長保育となり、1階の2歳児の保育室で合同保育となります。異年齢の子どもたちが日中とは異なるおもちゃで遊んだり、ピースの細かいパズルに挑戦したり、飛び出す絵本を保育士が読み聞かせて楽しんだりしています。保育者は日中の子どもの様子を遅番担当に伝達、共有し、それに応じた遊びを提供しています。子どもの状態に合わせて環境に柔軟に変化を与えながら、保育者がゆったりと関わるように配慮しています。</p> <p>延長時間の保育においても、子どもが楽しく遊べるように配慮しています</p> <p>延長保育では担任以外の保育者が関わる場合もあるため、子どもの様子の共有に努め、楽しく過ごせる環境を整えています。0歳児は夕方にも睡眠が取れるように、室内で場所を分けて布団を用意したりするなど、ゆったりと過ごせるように配慮して環境作りを行っています。また健康面においても、水分補給をこまめに行いながら、検温を行い、体調の変化に留意して子どもの様子を見守っています。また、設定した遊びや活動のゾーンごとに特定の保育者が担当して近くで見守りながら、子どもが集中して遊びが展開できるように配慮しています。</p>		

6

評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

環境に配慮し、食材は再利用などで残すことなく使い切る工夫をしています

どんご会グループが重視する子育ての1つに、食材と食の循環を知る事が挙げられます。環境への配慮として給食の残渣減を目標に、調理くずを減らす取り組みをしています。味噌汁を作る際に出汁を取った昆布や鰹節を、様々な方法で再利用しています。昆布はみそ汁の具やほかの煮物に入れて活用し、鰹節は炒ってから手でほぐし、細かくした後に改めて出汁取りに活用し、さらにその後も炒り、ふりかけにしてご飯に添えたりします。食べられる物は余すことなく活用する事を心がけ、食材の活用を通して環境保全への意識を育てています。

子どもが食について関心を深めるために、様々な工夫をしています

食事の味付けや形状については、家庭での様子の聞き取りと園での日ごろの食べ具合によって対応しています。季節感のある献立や行事食を提供する際には事前に関連する絵本を読んだり、行事に因んだ話をしたりしています。4月には入園おめでとうメニュー、5月には柏餅、7月の七夕では夏野菜のオクラを星に見立ててそうめんに入れ、12月のクリスマスではほうれん草蒸しパン、1月はおせち、2月の節分では鬼まんじゅう、3月はひなあられなど、メニュー作りに様々な工夫をする事で、子どもたちは食事の変化を楽しみ学びにもつなげています。

保護者と協力して食に関する取り組みを実践し、アレルギーにも対応しています

子どもの喫食状況や好き嫌いに関しては、子どもと一緒に給食を食べて様子を把握し、保護者と情報共有して対応しています。離乳食は月齢だけで判断せず子どもの様子を見ながら進めています。食物アレルギーに関してはアレルギー検査を行い、給食やおやつで使用する食材の除去を希望する場合は、提供開始前に保護者が除去食申請書と医師が記入する生活管理指導表を園に提出します。そして施設長、栄養士、保護者とで面談し、全職員が共有後にアレルギー食の提供開始となります。毎月食育だよりを発行して園の取り組みをレポートしています。

7

評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもの健康や安全のために、特徴ある様々な取り組みを実践しています

裸足保育は足指で地面を捉える力を育て、「歩く・走る・跳ぶ・とび下り・よじ登る・横や後ろに動く」ができるようにし、運動感覚を育てる事を目的としています。職員も率先して園児と共に、室内、園庭では裸足や草履で過ごしています。また転んでも自分の体を支える事ができる徒手力を身に付けるため、雑巾がけ、雑巾絞りを1歳児クラスの1月より毎日子どもと保育士が行います。活動や休息のリズムを整えるために毎朝9時に散歩に行きます。4月から徐々に無理のないペースで距離を伸ばし、2歳児は往復4キロメートルを目指しています。

子どもの健康のために嘱託医との連携のもと、情報提供や指導に努めています

投薬が必要な子どもには与薬依頼票に、必要事項を保護者に記入してもらい、1回分を預かり指定の時間に投薬しています。年2回、嘱託医による全園児の健康診断を実施しています。0歳児は乳児検診を毎月実施しており、その際に保健に関するアドバイスを受たり、健康面などで気になる事について電話などで相談したりしています。感染症については毎月発行している保健だよりで情報を提供し、園内で発生した場合は必要に応じて症状などの詳細情報を玄関に掲示したり専用アプリで知らせたりして注意喚起し、感染拡大の防止に努めています。

乳幼児突然死症候群の防止も含め、子どもの健康維持にきめ細かく配慮しています

乳幼児突然死症候群の防止については、午睡中の生存確認チェックとして5分起きに体位確認し、うつぶせ寝・横向き寝は仰向け寝に直し布団や毛布は首から下にかけてます。午睡中はよだれかけは取り外します。バイタルチェックとして胸に手を当てて心臓の音の確認、鼻と口に手を近付けて呼吸を確認します。うつ熱予防として手足が布団から出ている状態にし、布団と背中の方に手を入れて熱すぎないかを確認してアプリに記録しています。子どもの健康状態は、登園時の受け入れで視診を行い、保護者に家庭での様子や睡眠、食欲などを聞いています。

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</div>		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者個々の事情へ配慮した対応、保護者同士が交流できる機会作りに努めています</p> <p>入園時及び入園後も保護者との面談を重視し、プライバシーに配慮しながら、各家庭の事情に沿った対応に努めています。また、年2回実施している保護者懇談会では、保護者同士の懇談や保育内容についての意見交換なども積極的に行われるように配慮しています。相互理解を深めつつ、保護者同士が交流できる貴重な場と捉え、子どもの睡眠、食べ物の好き嫌い、家庭での過ごし方など身近な子育ての悩みなどを話し合える環境作りに努めています。行事を通して、保護者同士が行事への協力や親睦を深める「どろんこサポーターズ」の活動も盛んです。</p> <p>日常の保育や行事を通して、保護者と職員の信頼関係が深まっています</p> <p>保護者への対応姿勢として、保育者は担任以外でも子どもの様子を共有し、気になる事は送迎時などに伝えるようにしています。0、1歳児では面談や懇談会を通して子育ての不安を共有できるような関わりに力を入れ、園での様子を具体的に伝えて成長への関心や理解が高まるように努めています。2歳児では遊びや関わりが幼児期に移行していく過程で、様々な変化がある事を中心に伝えています。これによる保護者との信頼関係が築けている事が、夏祭りでの保護者のボランティア「どろんこサポーターズ」との関係性などにも表れています。</p> <p>保護者が園の保育活動に積極的に関わられるように配慮しています</p> <p>年2回の保護者懇談会において、園は懇親のための時間を設定し、その中で保育参加の声かけをして参加者を募集しています。また園の行事に積極的に関わってくれる保護者が自ら先頭に立って、ほかの保護者を「どろんこサポーターズ」に誘っています。どろんこサポーターズでは主に家族同士のつながり作りや、子どもと保護者にとって必要だと考えられる活動、子どもが遊び育つ環境をより良くしていく活動を実施しています。今後、夏祭りや運動会のほかにも活躍の場の機会を増やそうと、企画を具体化していこうとしています。</p>			
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>子どもたちは地域の人との交流を深めながら、様々な経験を積み重ねています</p> <p>「全ての人との関わりから判断・行動を身につける」という事が、どろんこ会グループが打ち出している「6つの力」に含まれています。地域交流、様々な仕事を目にする、地域の大人と目を見て話す事を目的として週に1回、サービス、金融、流通、製造など地域の様々な店や会社などを訪問します。近隣の高校の行事で高校生とも交流しています。消防署で消防車を見たり署員に帽子を被せてもらったり、鮮魚店では子どもの目の前で魚をさばいてもらったり、デイサービスの人たちと交流したり、地域の人との関わりの中で様々な経験をしています。</p> <p>園の行事に地域の人参加を呼びかけて、様々な人たちと接する機会を作っています</p> <p>園児は散歩の際に、出会う近隣の人への挨拶や交流を積極的に行っています。中学校の職場体験で園を訪問した生徒とも交流しています。地域の子育て支援活動の「ちきんえっぐ」では、各種イベントを通じて在園児が地域の未就学児親子と一緒に活動する場合もあります。夏祭りなどの行事の際には、事前にチラシを掲示して周知し、近隣の人たちや卒園児、系列園の園児、近隣の未就学園児などが参加します。年々、夏祭りの来場者が増加傾向にあり、園の認知度が上がってきている中で、園児は近隣の人との交流を深めています。</p>			

調査対象

保育園を利用している39世帯を対象に調査を実施しました。在園児は42名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数	42
利用者家族総数(世帯)	39
共通評価項目による調査対象者数	39
共通評価項目による調査の有効回答者数	38
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	97.4

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が27人(71.1%)、「満足」が8人(21.1%)で「満足」以上の回答は合計35人(92.1%)でした。

自由意見には、「職員の子どもに対する接し方がよいです」「低年齢のみだからこそ、低年齢向けの優しい保育を受けていると感じています」「おおらかな園で、子どももののびのび育つことができると思います」「全ての項目で、とても素晴らしい園だと思います。とても感謝しています」「子ども主体で、見守った保育をしてくれます」「先生方の人間関係が良さそうです」「本当に子どもが好きなんだと感じさせてくれる職員の方が多く、安心して預けられます」「常に子どもの目線になっていて良いです」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」で94.7%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」他2項目で92.1%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	36	0	2	0
「はい」が94.7%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「外遊びやどろんこ遊びを、積極的にしてくれているのがありがたいです」「家ではできないさまざまな経験をさせていただき、感謝しています」「さまざまな体験ができてよいと思います」「砂遊びとか、外での遊びをたくさんさせてくれていますので、良いと思います」「散歩などたくさん身体を動かす活動があり、体力がついてきていると感じます」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	35	1	2	0
「はい」が92.1%、「どちらともいえない」が2.6%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「強制して遊ばせることがないので、本人の興味に沿って、保育生活を送れていると思います」「子どものやりたい気持ちを引き伸ばしてくれていて、いい経験になっていると思います」「やりたい気持ちを優先させて、いろいろさせてもらっています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	0	2	2
「はい」が89.5%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が5.3%でした。 自由意見には、「おやつも手作りでありがたいです」「食育の活動もありがたいです」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	36	0	2	0
「はい」が94.7%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「公園や自然の中で、他の子どもと遊ぶことは、発達にとっても良い影響があると感じています」「積極的な外遊びと商店街散歩もあるので、地域と触れ合えています」「散歩がたくさんあり、ありがたいです」「家庭菜園や生き物のお世話や、季節の花や植物を飾っているところが良いです」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	29	4	2	3
「はい」が76.3%、「どちらともいえない」が10.5%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が7.9%でした。 自由意見には、「過去に、そういったことをお願いしたことはありません」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	27	8	2	1
「はい」が71.1%、「どちらともいえない」が21.1%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が2.6%でした。 自由意見には、「子どもを安全に預かっていただき感謝しています」「感染症の予防策をどうされてるのか、不明です」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	7	2	1
「はい」が73.7%、「どちらともいえない」が18.4%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が2.6%でした。 自由意見には、「松山ルームと清瀬ルームで、行事が同じ日になると車が混雑するので別の日だと良いと思います」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	34	2	2	0
「はい」が89.5%、「どちらともいえない」が5.3%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「連絡帳に書いた相談は、園の送り迎え時に時間をとって直接話してくださったり、また、気さくに話をしてくださるので、相談しやすいです」「とても親身になっていただいています」「先生方全員が、自分の子どもの顔と名前を覚えてくれて、関わってくれているので、とても安心感があります」「先生方を信頼できます」「スタッフの方が本当に優しく、丁寧、親切で、安心して子どもをお願いできます」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	35	1	2	0
「はい」が92.1%、「どちらともいえない」が2.6%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「とても清潔で、明るいです」「施設の新しく、きれいで良いです」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	32	3	2	1
「はい」が84.2%、「どちらともいえない」が7.9%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が2.6%でした。 自由意見には、「みなさん明るく丁寧で、雰囲気も良いです」「いつも安心して子どもを預けられるのは、先生方がしっかりされているからだと感じます」「どの先生もみなさんよく挨拶をしてくださり、違うクラスの子ともよく名前を覚えていて、話しかけてくださるのでありがたいです」「先生方がみなさん明るく優しく、雰囲気が良いです」などの声がありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	34	2	2	0
「はい」が89.5%、「どちらともいえない」が5.3%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「細かいけがも報告してくれます」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	29	4	2	3
「はい」が76.3%、「どちらともいえない」が10.5%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が7.9%でした。 自由意見には、「その場にいないので、本当の事を言われているのかわかりません」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	34	2	2	0
「はい」が89.5%、「どちらともいえない」が5.3%、「いいえ」が5.3%でした。 自由意見には、「子どもの意志を尊重してくれていると感じ、子どもがのびのびと活動しています」「嫌な感じの先生を見たことはありません」「先生たちが子どもたちにいつも優しく接してくださっていて、安心しています」「先生方が真剣に、子どもたちに寄り添ってくれています」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	32	2	3	1
「はい」が84.2%、「どちらともいえない」が5.3%、「いいえ」が7.9%、「無回答・非該当」が2.6%でした。 自由意見には、「守っているかどうか、わかりません」などの声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	35	0	3	0
「はい」が92.1%、「いいえ」が7.9%でした。 自由意見には、「保護者会などを通じて、プリント配付も含め、細かく説明をしてくれます」「お迎え時に時間を取ってしっかり話をしてくれます。特に一部の先生は、たまたま会ったときでも、時間が許す限り、子どもの園での様子をたくさん話してくれるので嬉しいです」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	32	3	2	1
「はい」が84.2%、「どちらともいえない」が7.9%、「いいえ」が5.3%、「無回答・非該当」が2.6%でした。 自由意見には、「不満に対し、しっかり対応をしてくださるので、安心して子どもを預けられます」「かなりよく対応をしてくださっていると思います」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	23	7	5	3
「はい」が60.5%、「どちらともいえない」が18.4%、「いいえ」が13.2%、「無回答・非該当」が7.9%でした。 自由意見には、「周知はありません。誰が第三者委員なのか知りません」などの声がありました。				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証